ジョルジュ・ルオー
輝く黒、色彩の光

長いこだまが遠くから響きかわして／闇のように光のように広大無辺の、
暗い奥深い一体のうちに溶け合うのに似て、／香りと、色と音とが互いに答え合っている。
（ボードレール「万物照応」『悪の華』安藤元雄訳、集英社）

ルオー・ギャラリーでは、当館が作品を所蔵するジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958)の芸術の魅力を様々な切り口で紹介しています。今回は、ルオーの黒と光の表現に着目して、版画と油彩画を展覧します。

国立美術学校でアカデミックな絵画技法を学んだルオーにとって、黒は陰影表現に欠かせない身近な色でした。黒を極力避けた印象派や点描主義の影響をほとんど受けなかったルオーは、初期作品において黒い線や影を多用し、暗い色調によってこの世の苦悩や悲観を表現しました。1904年の展覧会「サロン・ドートンヌ」に展示された作品群は、その重く不透明な暗さゆえに、鑑賞者や批評家を当惑させました。また、日本でいち早くルオーを紹介した画家の梅原龍三郎も、自身が所有していた1908年作《裸婦》を「黒っぽい裸婦図」と呼んでいます。黒を用いた暗い色調は、ルオーの初期作品を特徴づける顕著な要素だったのです。

一方で、ルオーにとっての黒は、単なる絶望や悲観の色ではありませんでした。それは同時に、光が生まれる闇でもありました。1920年代に手がけた銅版画集『ミセレーレ』の版画作品では、対象に明暗を与える外からの光とは別種の輝きが、暗闇にいる人物たちの周縁に浮かび上がっています。まるで画面の奥から放射されたかのようなその白い光は、敬虔なカトリック信者だったルオーにとって、苦悩に満ちたこの世の闇に顕れる神の恩寵（おんちょう）の光であったとも考えられます。

ルオーは、版画だけでなく油彩画でも、鮮やかな色彩によってこうした神秘の光を描いていきます。それは例えば、聖なる人物の顔や身体の周縁に賦彩（ふさい）された黄色や白色、あるいは、晩年の《秋の夜景》、《エジプトへの逃避》の風景にみられる明るい黄系の色彩を通して感じとることができます。輪郭線の黒も存在感を放ち、闇と光、黒と色彩が互いに照応しあう画面は、現実を超えた永遠と無限の世界へと私たちを誘います。

ルオー・ギャラリー
出品リスト

Panasonic Shiodome Museum of Art
ROUAULT GALLERY

ルオー・ギャラリーでは、パナソニック汐留美術館の
ルオーコレクションから、テーマごとに作品を展示しています。

ジョルジュ・ルオー

輝く黒、色彩の光

2026年7月11日（土）～ 12月20日（日）
前期：7月11日（土）～ 9月23日（水・祝）、後期：10月15日（木）～ 12月20日（日）
※9月24日（木）～10月14日（水）は休館

No.		作品名 Titre	技法／材質 Technique and Support	サイズ （H x W cm） Size	制作年 Date
1	○	夜の風景 または よきサマリヤ人 *Paysage de nuit, dit aussi : Le Bon Samaritain*	木炭、水彩、パステル／紙 Charcoal, watercolor and pastel on paper	68.9 × 95.9	1897年
2	●	人物のいる風景 *Paysage animé*	木炭、パステル／紙（紙と麻布で裏打ち） Charcoal and pastel on paper lined onto linen	80.0 × 120.0	1897年
3		裸婦 *Nu*	油彩／紙 Oil on paper	33.0 × 25.0	1908年
4	○	母親に忌み嫌われる戦争（『ミセレーレ』42） *Bella matribus detestata (Miserere 42)*	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー他／紙 Photogravure, sugar aquatint, drypoint, scraper, burnisher, etc. on paper	58.4 × 44.0	1927年
5	○	七つの剣の悲しみを負う聖母（『ミセレーレ』53） *Vierge aux sept glaives. (Miserere 53)*	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、スクレイパー、バーニッシャー他／紙 Photogravure, sugar aquatint, scraper, burnisher, etc. on paper	57.5 × 40.8	1926年
6	●	“われら…彼の死において洗礼を受けたり”（『ミセレーレ』30） *"Nous … c'est en sa mort que nous avons été baptisés."* *(Miserere 30)*	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、アクアティント、バーニッシャー／紙 Photogravure, sugar aquatint, aquatint, burnisher, etc. on paper	54.5 × 42.0	1923年
7	●	“正しい人は、白檀の木のごとく 己れを打つ斧に香を移す”（『ミセレーレ』46） *"Le juste, comme le bois de santal,* *parfume la hache qui le frappe."(Miserere 46)*	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー他／紙 Photogravure, sugar aquatint, drypoint, scraper, burnisher, etc. on paper	58.5 × 42.2	1926年
8	○	キリスト（『「悪の華」のために版刻された14図』3） *Christ (Quatorze planches gravées pour Les fleurs du mal 3)*	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、ルーレット、バーニッシャー／紙 Photogravure, sugar aquatint, drypoint, roulette, burnisher on paper	35.0 × 25.4	1927年
9	●	自画像 I（『回想録』オリジナル版 2） *Autoportrait I (Souvenirs Intimes, Edition originale 2)*	石版画 Lithograph on paper	23.0 × 17.2	1926年
10	※	聖顔 *La Sainte Face* ※ 8月25日まで展示	油彩／紙（麻布で裏打ち） Oil on paper lined onto linen	77.0 × 59.9	1939年
11	※	十字架上のキリスト *Christ en croix* ※ 8月27日～9月23日および後期展示	油彩／紙（麻布で裏打ち） Oil on paper lined onto linen	29.0 × 20.4	1935年頃
12		古びた町外れにて　又は「台所」 *Au vieux faubourg ／ La Cuisine*	油彩／紙（麻布で裏打ち） Oil on paper lined onto linen	55.0 × 69.9	1937年
13		秋の夜景 *Nocturne d'automne*	油彩／紙（麻布で裏打ち） Oil on paper lined onto linen	74.8 × 100.2	1952年
14		エジプトへの逃避 *La Fuite en Egypte*	油彩／紙（板で裏打ち） Oil on paper mounted on panel	39.0 × 33.5	1952年

会期中、一部展示替えします。
○印は前期：7月11日（土）～ 9月23日（水・祝）
●印は後期：10月15日（木）～ 12月20日（日）
※印は期間限定展示
印のない作品は前期・後期展示

・作者は全てジョルジュ・ルオー Georges Rouault（1871-1958）です。
・作品の所蔵先は全てパナソニック汐留美術館です。
・作品名のみ、欧文はフランス語での表記となっています。
・番号は会場の展示順序と必ずしも一致しません。